

様式第十（第四十二条の二第二項関係）

（表面）

工事完了報告書

提出日をご記入ください。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

豊中市長 様

報告者が法人の場合は、法人名及び代表者氏名、  
個人の場合は個人名をご記入ください。

報告者

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号  
〇〇株式会社  
代表取締役 豊中 太郎  
氏名又は名称及び住所並びに法人  
にあっては、その代表者の氏名

全ての地番をご記入ください。地番が多数ある場合は、別紙に記載いただくことも可能です。  
地番の一部の場合は、地番の一部をご記入ください。

土壌汚染対策法第7条第9項の規定により、土壌汚染対策法施行規則第42条の2第2項各号に掲げる措置の実施が完了したので、次のとおり報告します。

要措置区域の所在地	豊中市〇〇町〇丁目〇番〇（地番） 豊中市〇〇町〇丁目〇番〇号（住居表示）
実施措置の種類	土壌汚染の掘削除去
実施措置の着手時期	〇〇年〇〇月〇〇日
規則第42条の2第2項各号に掲げる措置の実施が完了した時期	〇〇年〇〇月〇〇日
要措置区域外から搬入された土壌を使用した場合	規則第40条第2項第3号に定める方法による調査の結果
	分析を行った計量法第107条の登録を受けた者の氏名又は名称
軽微な変更を行った場合にあつては、変更後の特定有害物質等の飛散等を防止するために講じた措置	—

(裏面)

実施措置の種類	土壌汚染の除去
別表第九の上欄に掲げる実施措置の種類の違いに応じ、それぞれ同表の中欄に定める事項	
<p>一 基準不適合土壌の掘削による除去</p> <p>イ 土壌溶出量基準に適合しない汚染状態にある土地において、目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を掘削する範囲又は深さを変更した場合にあっては、変更後の範囲又は深さ</p> <p>ロ 土壌溶出量基準に適合しない汚染状態にある土地において、当該要措置区域外から搬入した土壌によって埋め戻した場合にあっては、当該埋め戻した土壌が目標土壌溶出量を超えない汚染状態かつ土壌含有量基準に適合する汚染状態にあることを確認した結果</p> <p>ハ 土壌溶出量基準に適合しない汚染状態にある土地において、掘削された目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を当該要措置区域内に設置した施設において浄化したもので埋め戻した場合にあっては、当該浄化の方法を変更した場合にあっては、変更後の方法</p> <p>ニ 土壌溶出量基準に適合しない汚染状態にある土地において、掘削された目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を当該要措置区域内に設置した施設において浄化したもので埋め戻した場合にあっては、当該埋め戻した土壌が目標土壌溶出量を超えない汚染状態にある土壌となったことを確認した結果</p>	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。